

職員会議資料

令和6年度互見授業について（まとめ）

1 経緯

新学習指導要領の実施から3年目となった。しかしながら、観点別評価に伴う授業改善が十分に行われているとは言えない状況であった。また、「主体的・対話的で深い学び」の手法の授業ではない授業も散見された。

2 研修会実施

10月1日（火）上越教育大学大学院 河野准教授をお招きして、「指導と評価の一体化」という演題で講演していただいた。

3 互見授業実施

11月5日（火）～22日（金）まで校内でICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の互見授業を実施。授業に際して以下のことを目標に取り組んだ。

- ・教師が連続して20分以上話さないようにする
- ・ペアやグループで考える時間を10分入れる
- ・本時で考える課題（問い）を用意する
- ・生徒がその時間でどのような資質・能力を身に付けるか意識する

4 互見授業終了後アンケート結果

I 目標について、当てはまる欄に○をつけてください。

	良くできた	まあまあできた	あまりできなかった
教師が連続して20分以上話さないようにした。	65.9%	29.5%	4.5%
ペアやグループで考える時間を10分入れた。	54.5%	29.5%	15.9%
本時で考える課題（問い）を用意した。	52.3%	43.2%	4.5%
生徒がその時間でどのような資質・能力を身に付けるか意識した。	43.2%	54.4%	2.3%

II ICT活用について、当てはまる欄に○をつけて使用例を参考に書いてください。

	使った (アプリ名)	記述 例) 電子黒板で資料を提示した、タブレットで検索させた、ロイロノートで資料を提出した等
電子黒板の使用	56.8%	資料の提示、生徒の意見交換、動画視聴
タブレットの使用	68.2%	検索、実験内容の撮影、ロイロノート
ロイロノートの使用	43.2%	資料の提示、テスト、課題の提示、クイズ、共有ノート、レポート作成・提出
その他アプリの使用	11.4%	サファリ、辞書アプリ、時計アプリ、YouTube

Ⅲ 今回の授業でうまくいったところ、改善が必要なところがありましたら書いてください（抜粋）。

- ・ペアワークがスムーズに行われた。読みの練習がマンネリ化していたので他の方法も探したい。
- ・発問の不足、グループ討議の不足
- ・発表時間にずれが生じたので、時間設定を明示すればよかった
- ・ICTを活用できたが、活用することを意識しすぎて話す時間が長くなってしまい、生徒にどのような力を身に付けさせたいかという部分が希薄になってしまった
- ・今回の授業では行わなかったが、問題演習時にはグループ学習を推奨している
- ・積極的に話し合いを行うことで知識が定着しテストの得点にもつながった。
- ・この時間で身に付けてほしかった解法を、ほぼ全員の生徒に理解させることができた。
- ・グループ内で発表した後、発表者に良かった点を伝えることで、互いに努力を認め合えたところが良かったと思う。良かった点を言われた時の発表者の笑顔が印象的だった。
- ・生徒の問いから、内容に関する新たな問いが生まれ、その問いを解決するために、生徒の興味・関心が高まった。
- ・話し合いの手順（司会・進行の仕方）を、事前に示しておけば、他の意見をただ聞くことは避けられた。
- ・目的、場面、状況に応じて自分の考えを英語で伝える言語活動となるよう改善が必要
- ・動画があるおかげで、何回も同じ説明をしなくてよいので生徒個別にゆっくり対応できます。生徒は家でも見ることができます。

Ⅳ 今後授業で取り組みたいところがありましたら書いてください（抜粋）。

- ・実験以外の授業でも、グループ活動等を取り入れられるように教材研究を進めていきたい
- ・外部との連携等、生徒の視野を広げる学習
- ・ロイロノートとGoogleClassroomとのメリット・デメリットを体験しながら理解したい
- ・室内書目に関しては、動画に活動の様子を記録させたり、ロイロノートの共有ノートを使用した授業計画や感想・報告・まとめを提出できるように準備していきたい。
- ・ロイロノートの共有ノートを使用したグループワーク
- ・今回のような問題作成やプリント等様々な授業スタイルを取り入れたい
- ・生徒側から自発的な問いが出るように授業をデザインしていきたい
- ・生徒に作問をさせ、それを授業内で解くような取り組み

5 総括

生徒が生き生きと取り組んでいる授業が多数見られました。生徒に身に付けさせたい資質・能力を意識し、生徒がどのような問いを立てるかを考え学習者中心の授業となるように授業をデザインすることが大切です。そのためには教員自身が問いを立て授業改善に取り組んでください。今後は学習指導要領を読み込み、確実な実施ができるようにしてください。